

造成地での自立再建に間に合うか

間に合うよう進める

問 山田型モデル住宅の内容は。高台住宅地などは27年度から順次住宅建設可能となるが、間に合うか。

佐藤町長 シンプルで規格化された資材の活用、共同購入、施工者の連携などでコスト低減を図り、自立再建を支援したい。

27年度からの自立再建に間に合うよう進める。
問 建物だけでなく諸費用や付帯工事を網羅したプランとしてほしいが。

長 基本的にそう考えている。広さを3種類

ぐらゐとし、外観は異なるが、

間取りや仕様を同じにして価格を示すようにしたい。

問 高台造成地、あるいはかさ上げ地に建設する際、地盤改良工事は必



造成が進む織笠地区の高台住宅団地

要か。

阿部建設課長 高台造成地は切土のため地盤改良は必要ない。かさ上げ地については基礎を砕石とするか、杭打ちをするかは個人の判断・負担となる。

観光地づくりを教育に

副読本と校外学習で

問 施政方針では魅力ある観光地づくりへの取り組みを進めるとあるが、具体的には。また、学校教育の中ではどのようなようになされているか。

佐藤町長 新たに指定された「三陸復興国立公園」や、認定された「三陸ジオパーク」、震災の教訓・防

災学習、シーカヤックなどのマリネレジャー、秋鮭、カキ、マツタケなどの「食」の地場産品などを地域資源として活用し、イベントの展開、観光商品化の検討、特産品の開発支援などを行うことにより、魅力ある観光地づくりを進めていく。

学校教育では、魅力ある山田町の理解のために、社会科学副読本を使って町の様子や史跡名勝について学習している。また、校外学習などを通して、児童生徒が地域の良さを再認識できるようにしている。

いじめ対策の方針は

素早い対応と未然防止など

問 いじめ防止対策推進法に基づく教育委員会の方針とは。

佐々木教育長 委員会の方針を各学校に示し、各学校では26年度1学期をめぐりに、いじめ防止体制を講じることになる。内容は

・ いじめの定義といじめに関する学校の考え、方向性を示すこと。

・ 学校が一丸となり組織的に、素早く対応できる校内体制を整えること。

・ いじめが起こってから動くのではなく、未然防止の取り組みを実施すること。

・ 心身や財産に大きな被害を生じるような重大事態への対応について策定すること。

その他の質問

◆山田町復興計画について

◆スポーツの振興について

◆図書館の整備について



黒沢一成議員
(無所属)